

根から水やよう分をすいあげて、ぐんぐんのびるのです。

④ このときに、水をじゅうぶんやらないと、あとで、よいえだや花をつけてくれないそうです。

⑤ だから、春には、草や木に水をやるのがたいせつなのです。

3 文章全体をまとめると、どんなことを言っているのでしょうか。よいと思うものをえらび、その記号を□の中に書きなさい。

ア、春になると、草や木がすぐに目をさます。

イ、春になると、草や木はそだちはじめます。

ウ、草や木がそだちはじめると、水をやるひつようがある。

エ、水をやらないと、草や木はすこしもそだたない。

□

四、次の文章を読んで、下のもんだいに答えなさい。

わたしが、小学校三年生のときでした。母にたのまれ、しんせきの家にお使いに行ったことがあります。

しんせきのおばさんも、さぶらちゃんも、よろこんでむかえてくれたので、ついつい遊びすぎてしまい、はつど気がついたときは、もう、日がくれています。

「おくってあげるよ。」とおばさんは言いましたが、めいわくをかけたくなかったし、さぶらちゃんに誘わしども思われなくなかったので、わたしは一人でかえり道をいそぎました。

どらりうで、わたしは、ちか道を思いつき、山道に入りました。林の中は、しんとして、もの音ひとつし

1 わたしの通った「山道」はどんな道だったでしょう。よいと思うものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

ア、夕日が明るくさしている林の中の道。

イ、まっくらで、なにも見えない林の中の道。

ウ、月の光がさす林の中の道。

エ、遠くに人の声がある林の中の道。

② わたしは、足をはやめました。」と、ありますが、なぜでしょう。よいと思うものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

ア、おそくなり、かなしかったので。

イ、ちか道をはやくかえれて、うれしかったので。

ウ、山道がさびしかったので。

エ、よわむしと思われなくなかったので。

□

せん。ただ、月の光が、道をてらしているだけです。おもわずせすじがぞくぞくして、わたしは、足をはやめました。

そのときです。後ろからだれかがついてくるような感じがします。わたしはびくつとしてふりかえりました。だれもいません。ただ、わたしのかげぼうしが地めんにはべたりとはりついて、ふるえていました。わたしは、ぐるりとむきをかえると、むらりうで家の方にむかって走りだしました。

門のところ、母がたっていました。わたしは、いきなり母にしがみつきました。母は、何も言わず、わたしの頭をなんどもなんどもなでてくれました。③ わたしは、夜道を歩くとき、いつも、あのときのことを思い出すのです。

3 母のあんしんした気持ちは、どこでわかりますか。よいと思うものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

ア、母が門のところになつて、まっていたこと。

イ、母が「よかったね。」と言ってむかえたこと。

ウ、わたしが、いきなり母にしがみついたこと。

エ、母が頭をなんどもなでてくれたこと。

④ わたしは、夜道を歩くとき、いつも、あのときのことを思い出すのです。」と、ありますが、なぜでしょう。よいと思うものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

ア、おばさんや、さぶらちゃんが、よろこんで遊んでくれたので。

イ、ちいさいころのこわい思い出が、心にはやきついているので。

ウ、母にしがみついたのがおもしろく、わすれられないので。

エ、思い出をわすれないようにするため。

□

6

一、次の文章のお話のところに、「カ」(かき)を二つつけなさい。①
朝、おあさんが、おとうさん おきてください。と、言ったので、ぼくと、いもうとは、ふとんの 上につて、おきろおきろ、おとうさんおきろ。と、言いながら、ふざけあいました。

二、次の文に、「てん」を二つつけなさい。②
あしたは 村の おまつりです。また、うれしい、ぼくの たんじょう日です。

三、次の文で「れい」のついでところを(れい)にならつておしなさい。
(れい) 雨が ふつている。 ↓ 雨が ふつて います。

雨が ふつています。 ↓ 雨が ふつて いる。

1 みんな、はやくこつちに来てくれ。 ↓ みなさん、はやくこつちに来て
2 「このおかしをあげます。」と、おばさんが言いました。 ↓
「このおかしを [] 」と、おばさんが言った。 ③

四、次の文章を読んで、もんだいに答えなさい。